

# 安堵町

## 安堵町文化観光館「四弁花」を活用した拠点づくり



### 1 雇用の場の確保に関する課題及び基本的な考え方

- ① 既に開業している宿泊施設「うぶすなの郷 TOMIMOTO」、町歴史民俗資料館や飽波神社など集客拠点の中心として文化観光館を設置。
- ② 同施設の管理を商工会に委託することで起業・雇用創出をはじめ商工業発展の基盤とし、それにより地域の発展を図る。

### 2 取組の概要

- 令和元年8月に情報拠点施設 安堵町文化観光館「四弁花」を整備。
- 施設管理を商工会に委託することで、観光だけでなく商工業の拠点として、地域全体を活性化。

### 3 取組の効果 または 苦労した点や今後の課題

- コンビニ、ホームセンターはあるが、スーパー、飲食などの事業所が少ない。
- 新規事業者が増えない。
- 商工会への加入者が増えない。
- 規模が小さいため、施策に限界がある。
- 事業者の把握と支援内容。
- 四弁花を核として商工業の下支えとする。
- 新型コロナウイルス感染症による今後の経営に対する影響。
- うぶすなの郷を核としているが、DMO等の広域的な観光に取り組み雇用創出に繋げる。

詳しくは 安堵町ホームページ <http://www.town.ando.nara.jp/>

# 安堵町

## 工業ゾーンに企業を誘致



### 1 雇用の場の確保に関する課題及び基本的な考え方

- ① 安堵町では、人口減少と少子高齢化により就労人口が減少している。また、共働き家庭が増える中で、近隣での就労ニーズが増加していることから町内での雇用の場を創出。
  - ② 西名阪スマートICの開通により交通の利便性が大きく飛躍し、合わせて町内道路網の整備および企業進出を目的とした用地の開発により、商業地・工業地が整備される。
- <民間事業者との協力>
- ・ 第1次開発により、大型量販店、物流輸送拠点、大型リネン工場が進出（約3万㎡）。
  - ・ 第2次開発にて、用地の整備と誘致企業の創出に取り組む（約10万㎡）。

### 2 取組の概要

- 町内南部に昭和40年代開発の工業団地が西に広がっている。今回、その東側に続く町南東地域に新たに10万㎡超の工業用地を開発。
  - ・ 昭和工業団地と隣接し、それと一体した事業用地の整備
  - ・ まほろばスマートICを活用した企業進出の促進
  - ・ 事業進出に対して、町も優遇措置を実施
  - ・ 中心地などにおいても周辺環境や景観との調和を図りながら、土地利用を推進

### 3 取組の効果 または 苦労した点や今後の課題

#### 【取組の効果】

- 直近10年間に於いて、3社が事業を開始し、その他進出予定事業者が数社あり10年以上前と比較し大きく増加。
- 第1次開発で30名程度の雇用と税収の増。
- 第2次開発でも雇用が100名程度と大きな税収の増を見込む。

#### 【今後の課題】

- 商業施設のニーズが高いが、参入に至らない。
- アクセス道路の整備が急がれる。

詳しくは 安堵町ホームページ <http://www.town.ando.nara.jp/>